

< 願 い >

3月11日、東日本大震災という大変なことが起きました。悪い夢であって欲しいと誰もが願ったことでしょうか。大切な家族や家を失ってしまった人たちや原発の事で避難を余儀なくされている人たちの事を思うと胸が張り裂けそうになります。

この事態を知った人たちが皆、心を痛み悲しみ、自分にできることは何だろう？と考え日本はもとより世界中から支援物資、義援金ボランティア、救助隊などが即座に集まりました。今回のことで私は、人間の絆を感じました。どんなに離れていても国境を越えても人間は、みな繋がっているという事。そして人間は一人じゃないって事、いざという時、私たちは助け合っているって事に感動しました。復興までまだまだ時間はかかるだろうけれど必ず立ち直っていくという心強さを感じています。そして一日も早く日本中の笑顔が取り戻せますようお願いしています。 <祥代>

< 目 次 >

- I 被災地からの搬入
- II 『チャコの家』の玉手箱
- III 我家のペット紹介  
・間違い探し
- IV 花壇作りと寄せ植え  
・子育て商品券  
・新入社員紹介  
・間違い探し答え  
・前号クロスワード答え

 被災地からの搬入 

当社の『チャコの家』に欠かせない断熱材パネルを製造販売している「JOY・KOS(ジョイ・コス)」という会社が東北は岩手県花巻市にあります。「JOY・KOS」創立と共に『チャコの家』を始めた当社とは切っても切れない関係で社長や担当の方が年に一度は当社まで営業にいらっしゃいます。

そして『チャコの家』着工前になると岩手県や福島県にある工場から遠路はるばる当社まで大事なパネルを届けて下さいます。

あの3月11日の大津波の衝撃の映像をテレビを見た後、東北ということを知ってさらに血の気が引き「JOY・KOS」がとても心配になったのは言うまでもありません。社長に連絡を入れましたが一向に連絡が取れず、夜になってやっと「みんな無事です」とのショートメールが一行入ってきました。「よかった!!」それだけでも、私たちは安堵の気持ちでいっぱいでした。

それから電話でゆっくり話すことができたのは震災後3日目のことでした。「私達社員や家族もみな無事です。この辺では崩壊した家もありますが幸い私たちの会社や工場は大きな被害はなく無事でした。しかし、ガソリンがないので申し訳ありませんが配達できません。」そう話された社長でした。

それから約一ヶ月・・・待ちわびたパネルを乗せた長距離トラックが岩手から山形を通過して日本海側から当社にやってきました。感謝感激でした！これで『チャコの家』を建てることができます。

ただ、被災してしまった多種のメーカーがあることを考えると手放しでは喜べませんが、一日一日状況がよくなってきていて電気もガスも交通も物流も少しずつ元に戻ってきています。

「がんばろう！日本」を合言葉に私達も頑張っています！



4月7日早朝 トラック到着



ドライバーさん長距離運転お疲れ様でした



パネルを降ろしています



パネル無事納品完了！